村井麻衣子 Maiko MURAI
准教授 Associate Professor
博士（法学） Ph.D.
Keywords: 知的財産法 , 著作権法
Contact: myco@slis.tsukuba.ac.jp

IMAGINE THE FUTURE.

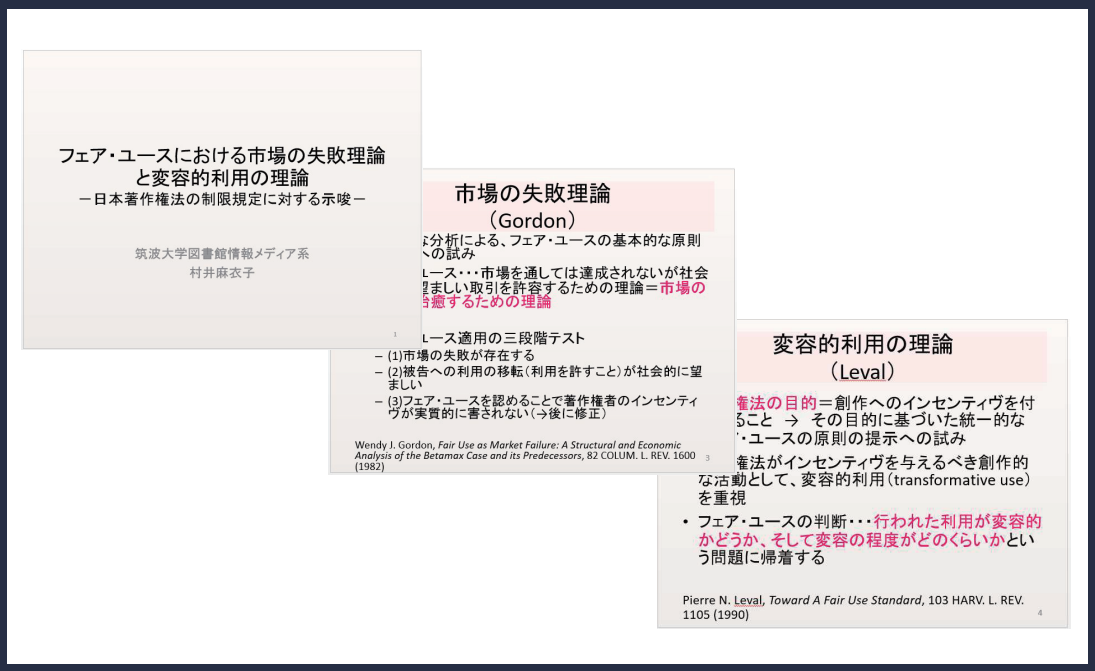
Graduate School of Library, Information and Media Studies
筑波大学 University of Tsukuba

研究概要

著作権法を中心に、特許法・商標法・不正競争防止法などの知的財産法に関する法学分野の研究を行っています。知的財産法は、情報の一定の利用行為を規制する法であり、情報学・図書館情報学においては、情報と社会制度（法制度）との関わりの一側面としての研究領域になります。

現在の著作権制度のもとでは、著作物の複製・公衆送信（インターネット上での送信等）等の利用の際には、原則として著作権者の許諾が必要です。しかし、複製等をする者が限られていた制度の誕生当初と異なり、現在は、デジタル技術やインターネットが発展し、誰もが容易に著作物を創作したり利用することができるようになりました。現代においては、著作権の保護の実効性の確保が求められるとともに、著作物の利用の自由を確保するという観点も重要になっています。現代の状況に適合した著作権法のあり方とはどのようなものであるか、検討を行っています。

www.slis.tsukuba.ac.jp



論文

1) 村井 麻衣子「フェア・ユースにおける市場の失敗理論と変容的利用の理論 (1) ～（6） ー日本著作権法の制限規定に対する示唆ー」知的財産法政策学研究 45 号（2014 年）～ 50 号（2018 年）（連載中）
2) 村井 麻衣子「要約引用［血液型と性格事件］」『著作権判例百選［第 5 版］』（2016 年）160-161 頁
3) 村井麻衣子「『風にそよぐ墓標』事件 ーノンフィクション作品における翻案権侵害の成否ー」著作権研究 42 号（2016 年）174-203 頁
4) 永田治樹・編著『図書館制度・経営論』（日本図書館協会・2016 年）［UNIT2-5, 20 分担執筆］
5) 村井 麻衣子「庭園の改変と著作権法 20 条 2 項 2 号」『平成 25 年度重要判例解説』（2014 年）278-279 頁

社会貢献活動

研究成果のうち、知的財産法政策学研究掲載の論文等については、情報法政策学研究センターのウェブサイトにて公開しています（知的財産法政策学研究（北海道大学 情報法政策学研究センター）http://www.juris.hokudai.ac.jp/riilp/journals/ ）。

社会貢献活動としては、2015 年度から文化審議会著作権分科会国際小委員会の委員を務めています。

メッセージ

図書館やアーカイブにおいては、多くの著作物が扱われるため、著作権に関連した問題が生じることがあります。インターネットやデジタル技術が発展した現代において、技術を活用した知識や情報の集積・共有のために、著作権制度がどのようにあるべきか、一緒に考えてみましょう。

関連情報サイト

www.juris.hokudai.ac.jp/riilp/journals/